

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：宗田 市太郎 幹事：平尾 信明

情報委員長：清水 忠

1976・8月26日

第72号

"Service"
I believe in Rotary
“奉 仕”
私はロータリーを信奉する

第361地区ガバナー

田山 敏 男 氏



マンチェスターR.I.会長と握手する田山ガバナー

周知の通り、ことしのマンチェスターR I会長にはターゲットは無い。

“ロータリーの目的は奉仕である。ロータリーから奉仕を取り除いたら何が残るか。したがって、奉仕以外にいかなるターゲットが必要だろうか”

こういった趣旨で、マンチェスター会長は会員にメッセージを送るにとどめ、その中で、“私はこの信念に一身を捧げている。諸君どうだろうか”

と世界中のロータリアンに語りかけている。

私はマンチェスター会長のいわゆる奉仕とは、職業奉仕を公分母として、その基礎に置くものと考えている。

職業とは何か、奉仕とは何か、その真意を絶えず問い直しながら、実践に結びつけていく。その努力は言葉では易しいが、実践では難しい。

たとえば企業社会における営利性の追求と公益性の実現という永遠の二律背反を、どのように解決するのか。

人間の心の内奥に秘む利己心と利他心を、どうして調和するのか。

問題は極めて難しい。しかし、社会のリーダーであるロータリアンがやらない限り、誰がやるだろうか。

諸君の奮起を願ってやまない。

—ガバナー公訪問講話より— (文責 清水 忠)

ロータリアンの茶の間から

「観蓮知自浄 見果覚心徳」

般若心経秘鍵（弘法大師作）より

吉山 宥海君

早朝例会の観音院での回向を済ませ読経の余韻まだ醒めやらぬ我々は蓮寺（持明院）として名高い吉山会員宅を訪問しました。

衆知のように以前は金沢駅前で伝統を継がれ、近年周囲の近代化の波に押され当地神宮寺町に移転なさったそうで、この辺りは水田、公園、民家に調和よく囲まれ、静かなたたずまいの白壁の門をくぐると、石だたみの両脇に並ぶ草花が我々を招いてくれました。



住宅は隣接され、いわゆるお寺という暗いイメージは無く、草木がふんだんに植えられ、御堂の採光にも配慮がなされているようで、生花、茶道に精通せられる吉山会員の人柄がしのばれました。

まず、御本尊について詳しく案内を受けましたが、充分に時代を経た“不動明”に我々は胸打たれる感を禁んじ得ませんでした。

引法大師が北越巡化の折、上記一木一丈なる御本尊不動明を刻み持明院を創立せられ、合わせインドよりと伝えられる妙蓮の種を植えられたという非常に由緒ある長い歴史を護ってこられた吉山家に対しては到底限られた紙面に書き尽されるものではありません。

詳細に由来・歴史等の説明を承ってから待望の蓮池へと案内されました。広い池には大きな蓮の葉が溢れんばかりに今を盛りと林立しその間を縫うように大きなふっくらとした華が点在し目に入ります。

「高原陸地に蓮華生ぜず 卑湿游泥ひしつおでいに此華生ず」
という維摩経ゆいまの教えが浮びます。

即ち、清い蓮華は高原陸地だけでなく卑湿泥濘にも華が咲く、つまり修業は山だけで完成されるものではなく、下界の現実の場、日常生活の実践の中でも見出して行けるものである……と。

蕾までは普通の蓮と変わらず、やや開いてくると内よりピッシリと花卉の固まりである花群が2～3に分かれて現われ、その色合、形において人を魅了せずにはおきません。

学名で多頭蓮と称し、花卉の数は2500～3000枚もあるそうで、株分けで他の場所へ移植しても2～3年で妙蓮の特徴を失い、普通の蓮華に戻ると聞き不思議な気がします。

金沢駅前より移転する時も非常に注意深くなさったそうで、我々の伺い知れぬ苦勞あつての天然記念物指定は当然かと思われまます。

蓮池の傍のお茶室の案内をも受けてから、奥様共々造詣の深いお茶のご馳走になり、丁重なるもてなしに一同感銘を新らたに観光客と入れ代りに門をあとにしました。

持明院は真言宗高野山派に属し、御長男は現在高野山にて修行中の身と承りました。

会員多勢が訪ずれたにも拘わらず、奥様共々非常に心ある歓迎を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

（桜井健太郎記）

ガバナー公式訪問

会長・幹事懇談会

8月19日 10:00～12:00

8月19日は当クラブの実態を知っていただき、ガバナーよりの適切なアドバイスを受けるといふ当クラブにとっての年間主要行事のガバナー公式訪問例会日に当り、例会に先立ち会長幹事懇談会が10時よりホワイトハウスに於て開催されました。以下その概要についてご報告申し上げます。

本年度ガバナーの方針として会長幹事懇談会にはクラブ会長幹事のみのお出席とし、忌憚のない懇談会に致したいとの事で宗田会長、平尾幹事の2名が出席いたしました。田山ガバナーはクラブ運営についての問題点や悩みを卒直に懇談し、ガバナー自身の修練にも結び付けロータリークラブのより良き発展に資したいという意図がありありと読みとれ、宗田会長より当クラブの現状説明と本年度の三大目標についての考え方、進め方等について約2時間に亘り活発な意見の交換が行われました。

特に当クラブは三周年を目前に控え、その間の活発なクラブ活動は他クラブより注目の的となっている事は会員の皆さんの御承知の通りであります。45名の全会員の心をぬいだ交流こそ今後のクラブ強化の原動力となる点に話題が集中し、ガバナーより新入会員の入会時に於ける同化教育。会員のロータリー意識の向上。炉辺会合、家族会などを通じての家族ぐるみの会合等の積み重ねによりロータリー活動への拡大と参加を計る事がより良いクラブ育成への適切な道であるというご指導を得ました。

以下項目的に概要を記します。

- ① 拡大委員会の本質並に使命と主要性。
- ② 新入会員に対する同化教育の徹底。
- ③ 会員相互のロータリー意識の向上について。
- ④ 全員の参加し易い炉辺会合、家族会などの企画等。

尚、ロータリークラブの一番理解し難い、また一番重要な柱である職業奉仕の“職業を品位あらしめる”事については特に感銘を深め、今後炉辺会合等にも積極的に話題提供し、勉強の機会を得たいと感じました。

本年度RI会長メッセージについては例会に於て、マチド計画についてはクラブ協議会でお話を聞きすることにして会長幹事懇談会を終了いたしました。(文責 平尾)

クラブ協議会

8月19日 13:30～15:30

田山ガバナーを囲んで <第3回クラブ協議会開催さる>



例会終了後、田山ガバナーを囲んで第3回クラブ協議会が開催された。(役員・理事16名出席)。冒頭「ガバナー自身も勉強と新しい情報吸収の場としたい」旨の御挨拶があり、和やかなうちにも終始骨格の太い内容でアセンブリが進行した。即ち3周年を迎える当クラブの直面する問題点については明快なサジェッションをされ、また現在までの諸事業については大いに評価されると同時に今後の焦点の絞り方についての細い御指示を仰ぐことができた。

今回の如く早い機会をとらえてのガバナー公式訪問は諸準備に不行届きは想定されたものの、逆に今後の軌道修正も適確に行いやすく当クラブとしても大いなる前進の糧となるみのり多いクラブ協議会であった。(文責 浅田)

